

学校が夏休みに入り、帰省や旅行などで人の移動が増えることが見込まれます。改めて基本的な感染予防策の徹底をお願いします！

県南地域の感染症患者発生状況

(参照 福島県感染症発生動向調査 令和7年7月23日発行)

<全数把握疾患>

- 百日咳は、報告数の多い状況が続いています。予防接種をしても感染に注意しましょう。

夜間にお子さんの体調が心配な時にご相談ください。

「福島県子ども救急電話相談」

(電話番号) #8000

毎日午後6時～翌朝8時

<定点把握疾患>

- RSウイルス感染症、水痘（水ぼうそう）、伝染性紅斑（りんご病）が流行しています。

RSウイルス感染症は、RSウイルスを病原体とする乳児に多く認められる急性呼吸器感染症で、潜伏期間は2～8日。

生後1歳までに50%以上で、2歳までにほぼ100%の人が少なくとも1度は感染するとされています。初感染の場合は、発熱、鼻汁などの上気道症状が出現します。

感染経路は、患者のくしゃみなどによる飛沫感染とウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染が主になります。

予防には、飛沫感染対策としてマスク着用や咳エチケット、接触感染対策として手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底することが必要です。

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

全国・県と同様、増加傾向です。

7月28日は世界肝炎デー 7月28日～8月3日は肝臓週間

肝炎ウイルス検査は受けましたか？

一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう。

ウイルス保持者は全国に200万人以上とされています。
もしも肝炎ウイルス検査でB型肝炎、C型肝炎が陽性になったら専門医を受診しましょう。

詳しくは「福島県 肝炎」で検索 ⇒

